

2005年度 図書館カレンダー

通常時間開館日

月～金 9:00～20:00  
土 9:00～17:00

短縮時間開館日

月～金 9:00～17:00  
土 10:00～15:00

閉館日

※臨時に閉館することがありますので、  
掲示にご注意下さい。

4

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

6

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

7

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

8

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

9

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

10

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

11

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

12

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3

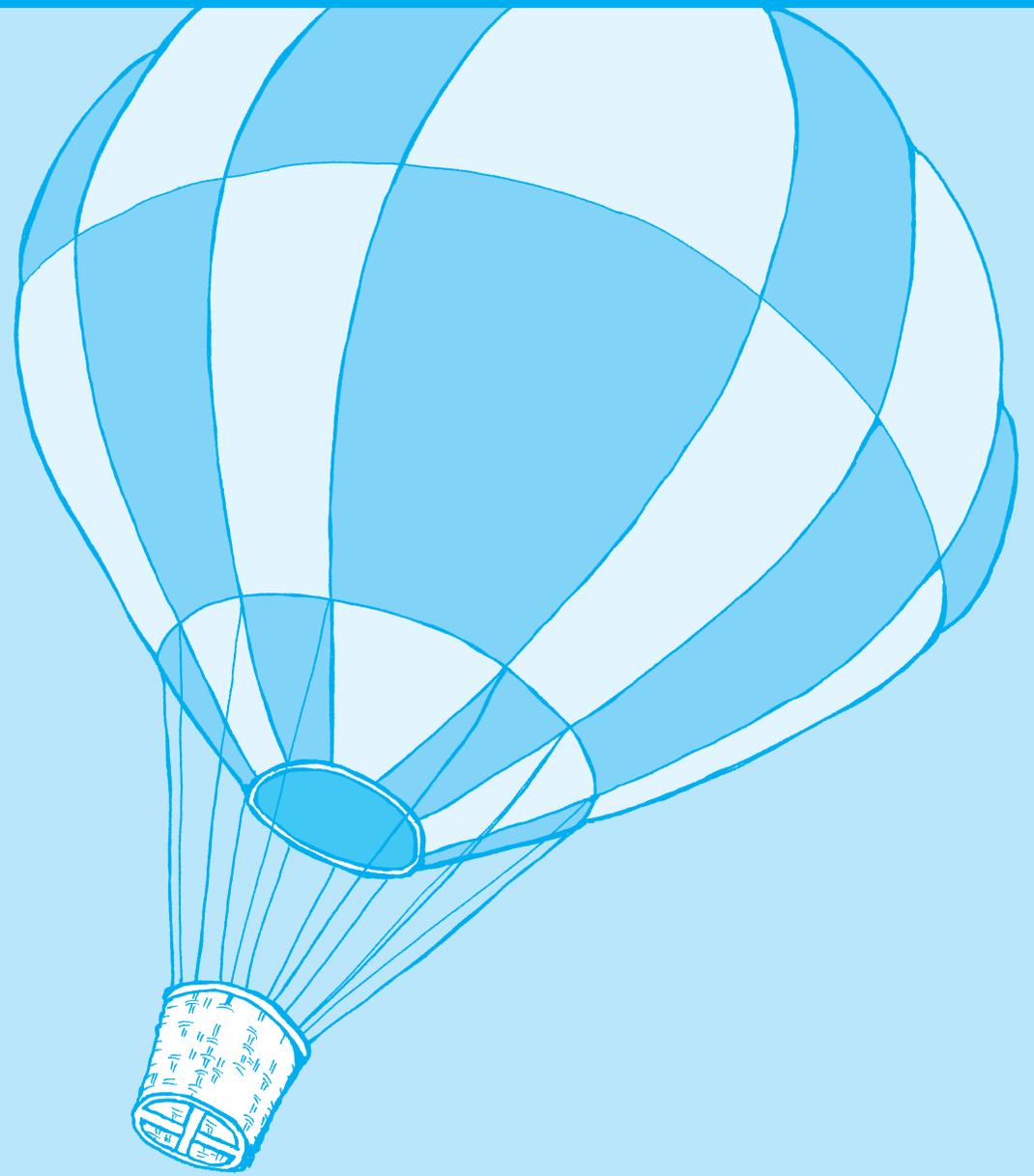
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

KWU

# Library News

No. 9  
2004

図書館だより



## 『Library News』No.9 発刊にあたって



本学図書館編集の『Library News』は、これまでに8回発行され、すべての学生・教職員の方々に配布されてきました。貴重書紹介や図書館の蔵書の探し方、図書館の配架や利用方法の変更のお知らせなどを主な内容としています。

近年はパソコン及びそれに伴うインターネットの利用が広く普及していった時期であったので、2000年度発行の『Library News』No.6 とその翌年度発行のNo.7 では、データベースを中心とした情報検索についての一般的な解説を試みました。簡単なパンフレットでしたが、情報探索のいい手がかかりとして、発行後2年ほどは広く便利に利用されたようです。

大学図書館にとっては、レファレンス業務と目録業務が中心になります。レファレンス業務は、調べたい内容をデータベース等で検索することの手助けを主要な役割にしています。いまインターネットを介しての情報は世に氾濫しており、しかも、これを取り巻く環境は絶えず変化しています。情報検索を行っている時、例えば、以前は接続できていたデータベースがなくなっていたり、インターネット上で新しいデータベースが公開されていることをたまたま知ったりすることは、日常茶飯事になっています。

情報が氾濫している現在、調べたい事柄について正確に知ることは容易ではありません。たやすく手に入る情報だけに頼っていると、偏った認識をもってしまい、情報に操作される恐れがあります。求められている情報について、どのような手段を使って調べることができるかを、利用者に正確に伝えることは、いまま図書館の重要使命の一つです。

今回の『Library News』No.9は、蔵書を中心とした情報検索の基本に立ち返り、情報検索の初心者念頭において編集しています。内容としては、情報の源になる資料の紹介に始まり、最新のデータベースや電子ジャーナルの簡単な紹介や説明を掲載していますので、何かを調べたいときにどのような傾向のデータベースを使えばよいかを知るのに役立つと思われます。興味をもったテーマについて調べたり、レポートや論文を作成したりするときに、この冊子を利用していただければ幸いです。

目次

『Library News』No.9 発刊にあたって ..... 1

図書館からのお知らせ ..... 3

2004年度 図書館利用統計 ..... 6

特集<情報探索> ..... 7

I. 文献検索

①図書館にある資料とその探し方 ..... 8

②京都女子大学図書館OPAC ..... 10

③京都女子大学図書館OPAC以外の目録データベース ..... 12

④文献情報データベース ..... 14

⑤電子ジャーナル(国内版) ..... 16

⑥電子ジャーナル(国際版) ..... 18

II. 情報検索

①新聞記事 ..... 20

②統計データ ..... 22

III. インターネットを使つての情報検索 ..... 24

まとめ:検索のコツ ..... 27

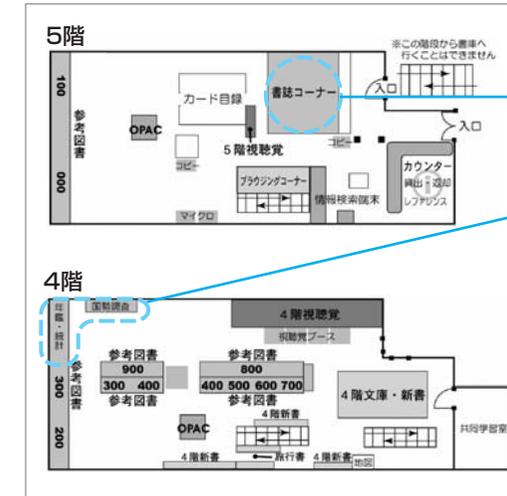
データベース・サイトリスト一覧 ..... 29

図書館カレンダー

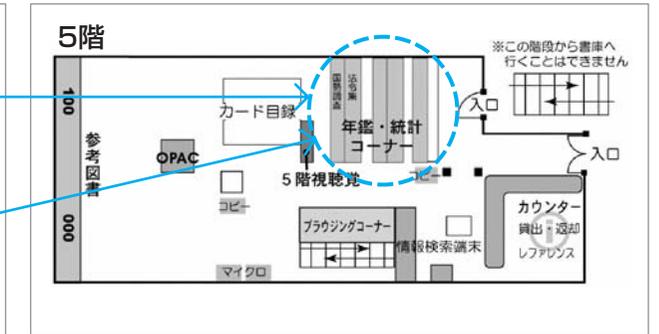
資料の配架場所変更 (H16.9月)

本館:5階書誌コーナーにある目録を一般開架、閉架へ移動し、4階の年鑑、白書、統計を5階へ移動しました。

変更前



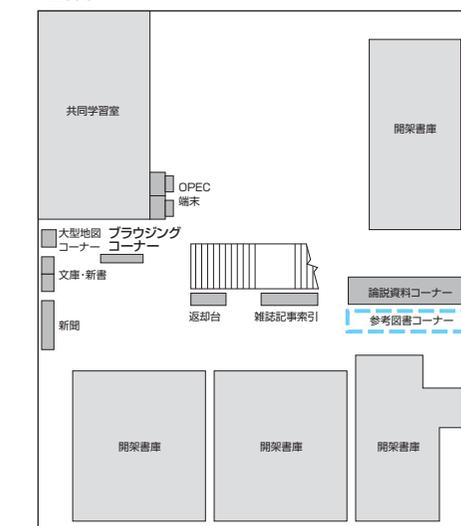
変更後



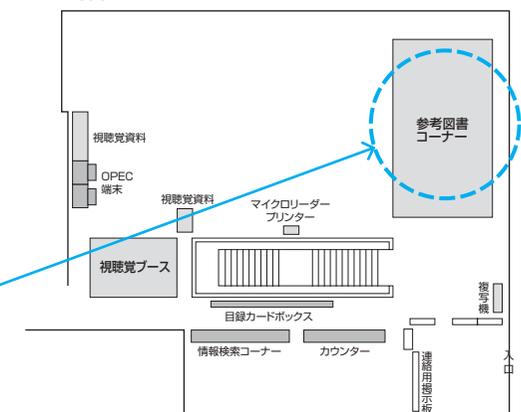
分館参考図書棚の増設

分館1階参考図書コーナーに棚を増設し、地階に配架していた参考図書をすべて1階にまとめました。

地階



1階



WEB上で図書貸出予約サービス開始(H16.6月)

全学生・教職員に向けてOPAC画面から現在貸出中の資料の予約ができるようになりました。また、現在自分が借りている図書の状況が確認できるサービスも提供しています。その他、専任教職員及び大学院生を対象にWEB上からILL(文献複写・相互貸借)の申込ができるサービスも行っています。

WEBサービスの種類

図書貸出状況・予約状況確認サービス

- ・自分が借りている図書の貸出状況(書名・冊数・返却日等)や予約状況を確認することができます。
- ・貸出中の図書に限り「予約」のボタンが表示されます。「予約」ボタンをクリックすると予約申込画面が表示されます。

ILL(文献複写・借受)サービス<教職員・大学院生のみ>

- ・他大学図書館所蔵資料の文献複写、図書の借受の申し込みができます。

学部図書購入依頼サービス<専任教員のみ>

- ・学部図書のみ(但し申込受付期間のみ)この方法で購入依頼ができます。

これらのサービスを利用する際、図書館WEBサービス専用のパスワードが必要になります。学生証持参の上、図書館本館・分館・雑誌室カウンターにお越しください。尚、図書館WEBサービス専用のパスワードは、「パスワード変更・利用者情報確認サービス」画面で、初期パスワードを必ず変更してからログインしてください。(変更しないと利用することができません。)

パスワードは、忘れたり、失くしたりしないように管理してください



その他の変更点

①閲覧証が学生証と一体化

2004年3月までは閲覧証による貸出でした。2004年4月から学部生、大学院生の閲覧証による貸出をやめ、学生証で図書の貸出ができるようにしました。学部生、大学院生以外の方については従来通り図書館閲覧証により貸出を行っています。

②貸出冊数の変更

2004年3月までは1人につき本館5冊、分館5冊であった貸出冊数を、館統合により本館・分館あわせて10冊に変更となりました。

③本館・分館AV機器入替

老朽化に伴いテレビ、ビデオ、CD、LD、DVD等、新規機器の入れ替えを行いました。また、従来AV機器を設置していなかった分館共同学習室にもビデオ、DVDを新規設置しました。スクリーン投影式でプロジェクターとしても利用可能です。

④レンタル倉庫

図書資料の増加に伴い学内だけでは保存スペースが確保できない状態になってきたため、学外にレンタル倉庫を借りました。OPACに「学外レンタル倉庫」と表示されている資料については、カウンターで申込後、原則翌日には閲覧可能です。ご迷惑をおかけしますが、ご了承ください。

⑤電子ジャーナル導入

2004年7月より電子ジャーナル(ARL ProQuest、OCLC ECO)を導入しました。洋雑誌から電子ジャーナルに切り替えたタイトルの他、従来購読していなかったタイトルも一部閲覧可能になりました。また、雑誌購読により無料でオンラインジャーナルが利用できるタイトルについても利用可能な環境を整えました。使用方法についての講習会も行っています。(P.18参照)

⑥図書館HP改善

図書館HPを2005年3月に大幅に改善しました。図書館が契約しているデータベースの概要等、最新の図書館情報を学外から常に見ることができるようになりました。尚、利用が学内のみ限定されているデータベースがあります。

図書館が契約しているデータベース データベースの内容等詳細はサイト一覧 →P.29~33参照

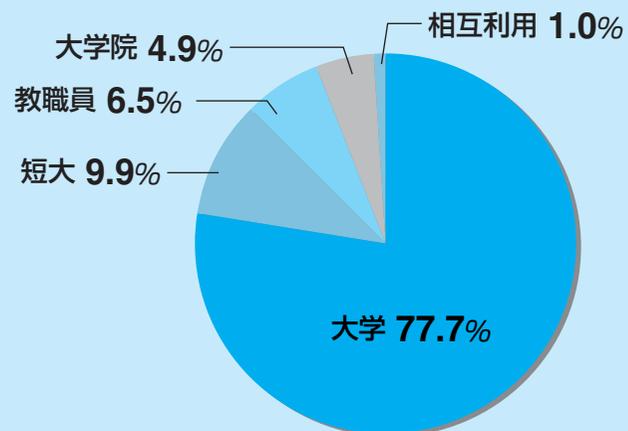
- |                             |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 1. CiNii (旧:NACISIS-IR,ELS) | 8. JDream            |
| 2. 官報情報検索サービス               | 9. SciFinder Scholar |
| 3. MAGAZINEPLUS             | 10. Psyc INFO        |
| 4. BOOKPLUS                 | 11. MLA              |
| 5. WHO II                   | 12. First search     |
| 6. 日経テレコン21                 | 13. ニューグローヴ世界音楽大事典   |
| 7. 聞蔵                       |                      |

## 2004年度図書館利用統計 (期間:2004年4月~12月)

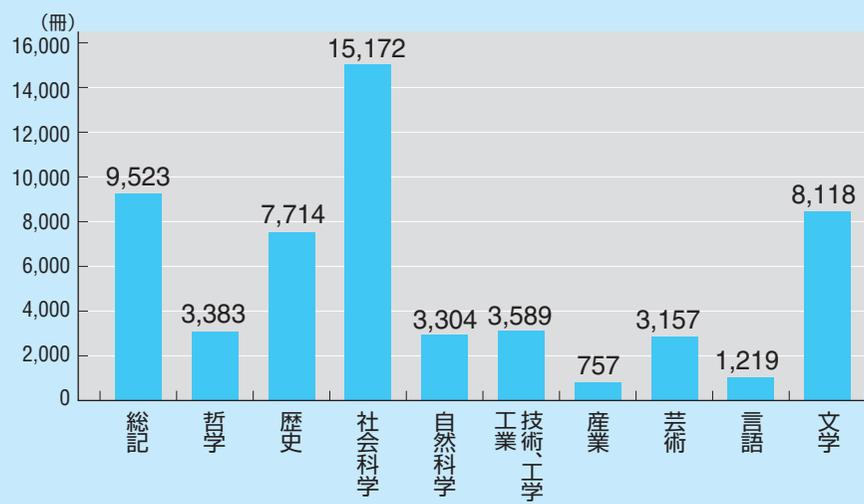
### 利用者別貸出冊数

大学	43,470
短大	5,541
大学院	2,701
教職員	3,647
相互利用等	577
計	55,936

(冊)



### 分類別貸出冊数



### 相互協力業務

	文献複写	貸借	他館閲覧	
依頼	1,311件	88件	106件	→本学が他大学図書館等へ依頼した件数
受付	1,070件	542件	216件	→本学が他大学図書館等からの依頼を受けた件数

相互協力業務とは・・・本学にない資料を他大学図書館等より取り寄せたり(文献複写・貸借)、直接閲覧に行くことができる図書館間の協力業務です。

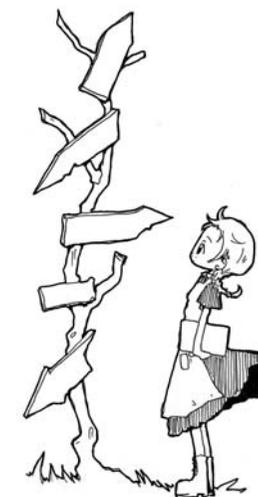
## 特集 情報探索

情報探索とは、図書・雑誌・テレビ・新聞・インターネットなど、さまざまな形態で存在するたくさんの情報の中から、自分が必要としている情報を探し出すことです。

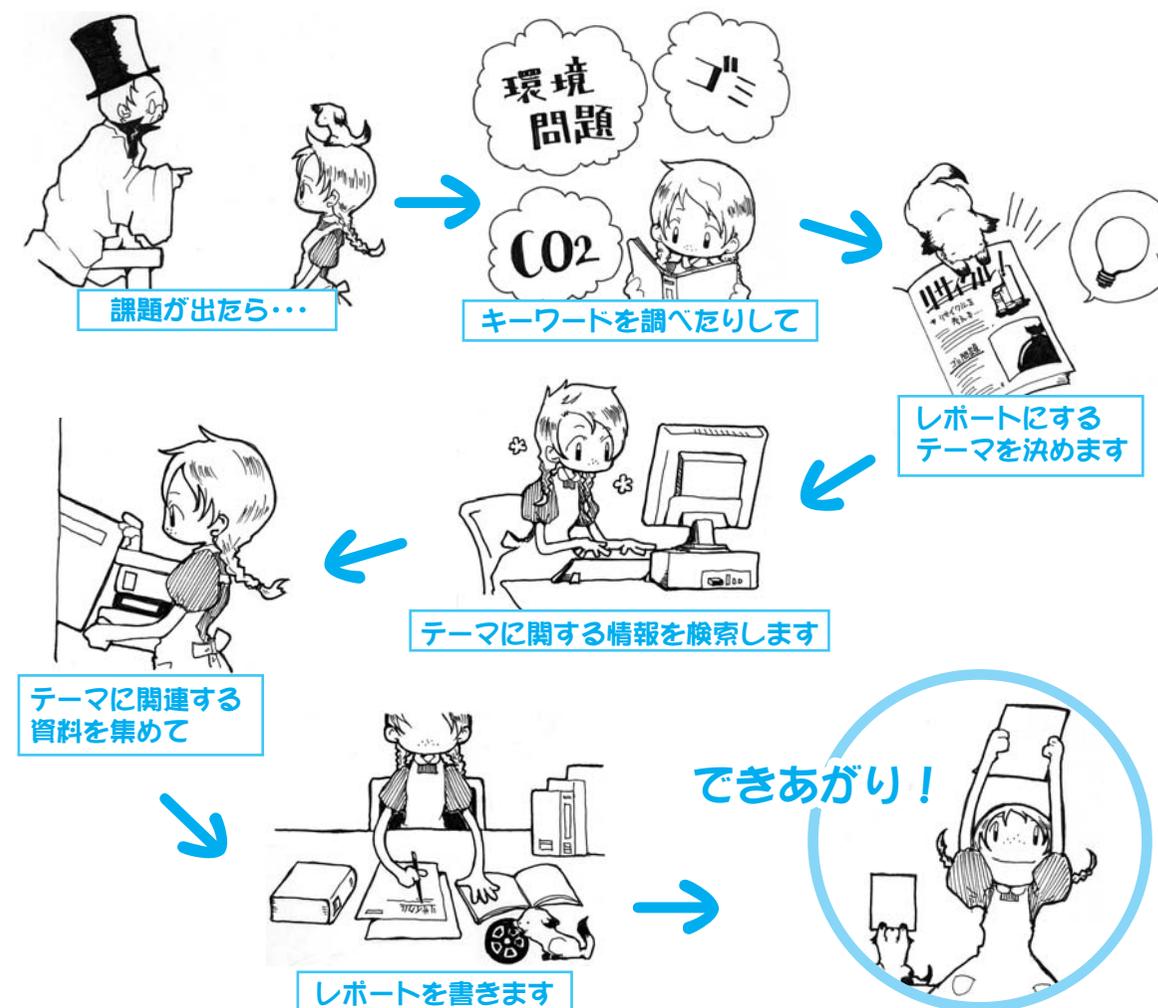
インターネットの普及と共に、私たちの日常生活の中にはさまざまな情報があふれています。それは正確な情報ばかりではありません。情報が氾濫している現在、多くの情報の中から本当に必要な情報を見つけることが困難になってきています。

今回、効果的な情報探索ができるようにデータベースの使い方などを例に、情報探索の方法について特集を組みました。

今後、レポートや論文を作成する際の参考にしてください。



### レポート・論文作成の手順



# I. 文献検索

## ① 図書館にある資料とその探し方

### 図書館にある資料

#### ■ 図書

一般的に情報量が多く、研究内容がきちんと構成され、まとめられています。一言で「図書」といっても、学習、研究においてはそれぞれに果たす役割が異なります。目的にあわせて適切なものを選びましょう。

- ・学問の分野における概論が記載されたもの
- ・統計や資料・史料など、研究の材料となるもの
- ・特定のテーマに関して、事実から展開された研究の成果をまとめたもの
- ・娯楽用（旅行書や小説など）
- ・用語集・事典・辞書など情報を探すための参考図書



#### ■ 雑誌(学術論文)

日々の研究成果は、図書になるより先に、論文にまとめられます。論文は学会や大学・研究機関が発行する学術雑誌に掲載されます。

- ・大学などが発行するものを紀要といいます
- ・電子ジャーナル(雑誌論文、記事が電子化されたもの)を利用すると、インターネットから学術雑誌に掲載された論文・記事を閲覧することができます。

検索した資料が、図書なのか雑誌なのか注意して見分けてください。

→P.11 参照



図書や雑誌以外にも、こんな資料があります

#### ■ 新聞

新聞には客観性の高い事実が報道されています。記事の内容からキーワードで検索することもできます。

→P.20 参照

#### ■ 視聴覚資料

映画、音楽、ドキュメンタリーのほか、語学や介護方法など、映像で見るとより理解が深まるものがあります。

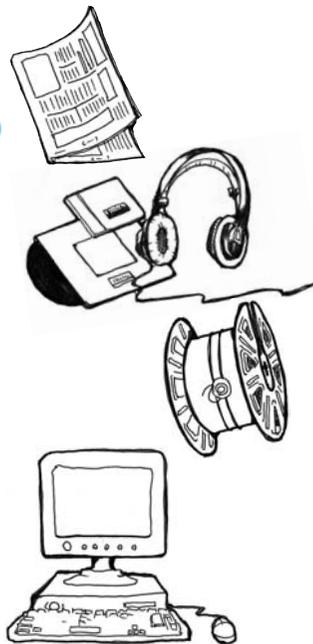
#### ■ マイクロ資料

図書・雑誌・新聞などを縮小撮影したフィルム。カード状のマイクロフィッシュとリール状のマイクロリールがあり、マイクロリーダーで画像を見ることができます。(プリントアウトもできます)

#### ■ インターネット

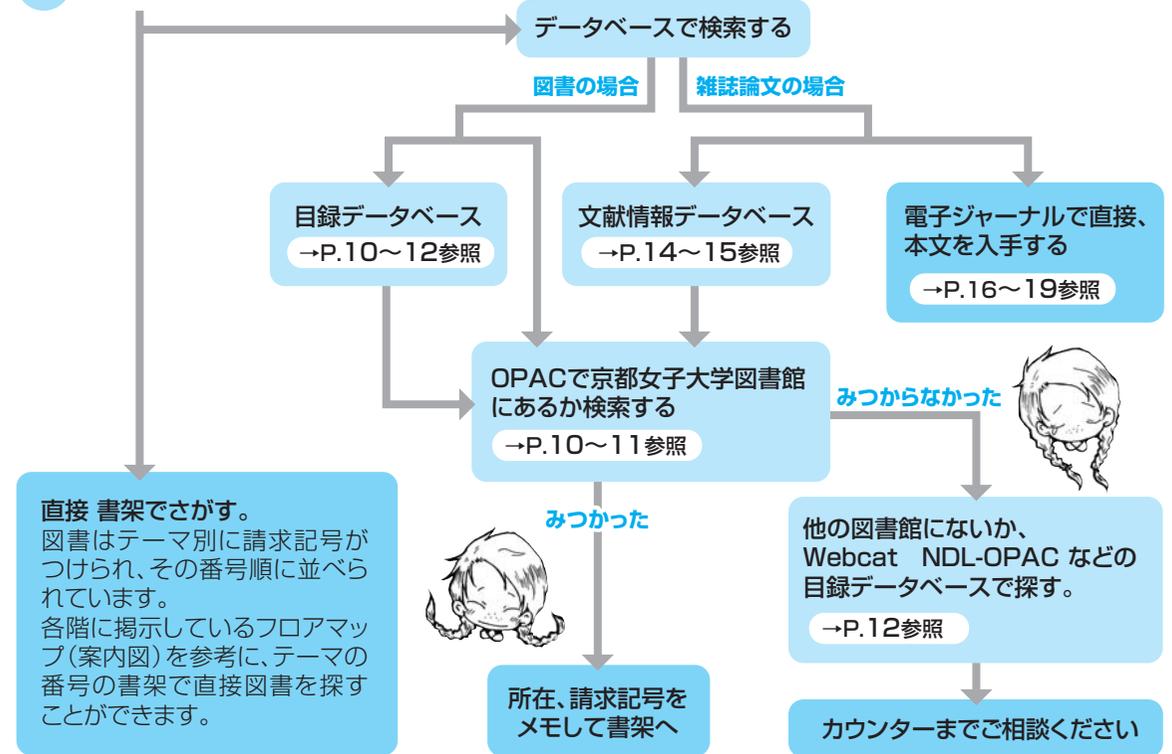
インターネット上には、研究に必要な多くの情報があります。京都女子大学図書館ホームページは、インターネット上の情報を探す窓口になっています。

(<http://www.kyoto-wu.ac.jp/library/index.htm>)

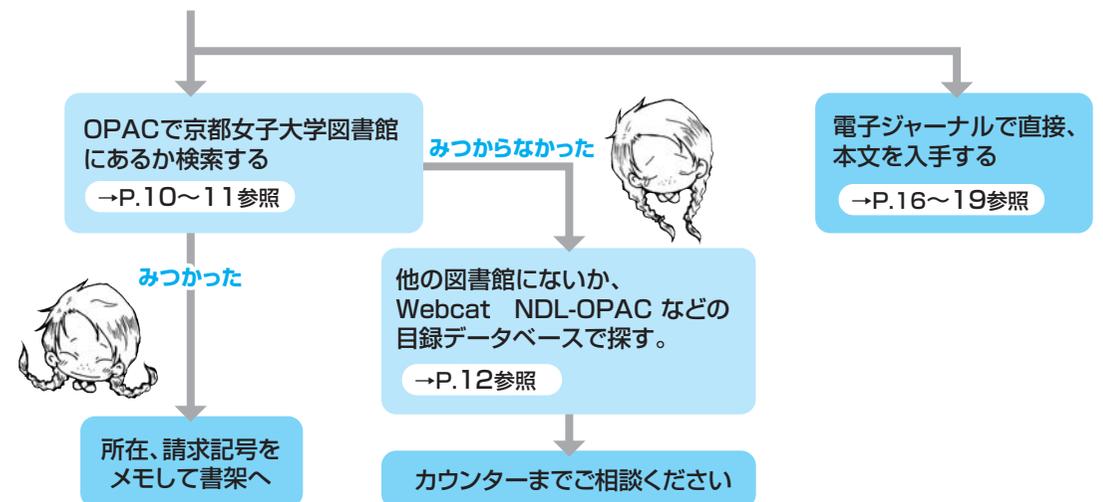


### 検索ツールの選択

#### テーマ別に探す場合



#### 求める資料の著者・タイトル・掲載雑誌情報などがわかっている場合



## ②京都女子大学図書館OPAC

### OPAC(Online Public Access Catalog)とは・・・

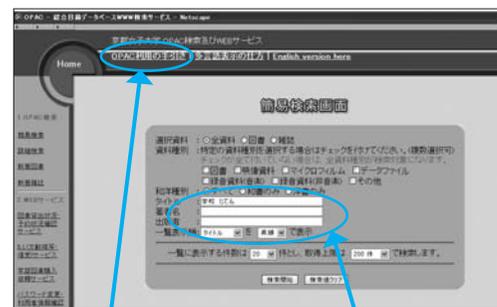
コンピュータの端末を利用して、オンラインで図書館の所蔵資料を検索することができる蔵書検索システムのことです。

書名・著者名・キーワードなどから検索し、資料がどこにあるか、貸出中かどうかなどの確認ができます。

京都女子大学図書館OPAC <http://lib.kyoto-wu.ac.jp/opac/>

京都女子大学図書館に所蔵されている資料(図書・雑誌・視聴覚資料など)を検索することができます。

### 1 キーワードを入力



OPACの使い方の説明があります

書名やキーワード・著者名・出版者(出版社)を入力します

### 2 検索結果一覧



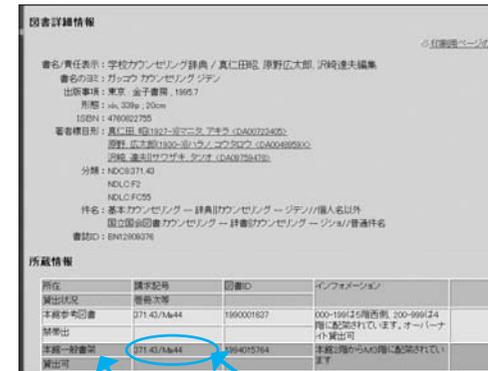
タイトルの部分をクリックすると、資料の詳細情報が表示されます

- ★タイトルの入力欄に、書名かキーワードを入力してください。
- ★キーワードとキーワードの間、姓と名の間にはスペースをあけてください。  
辞典と事典などのように読み方が同じで異なった書き方がある単語は「じてん」とヨミで入力すると両方の書き方を検索できます。
- ★同じ意味のキーワード(子供⇔児童、女性⇔女子など)でも、検索結果に大きな違いがあります。データベースで検索する前に、辞書や地名・人名事典、百科事典、現代用語辞典や学術用語集など、参考図書を使ってテーマに関連するさまざまなキーワードを探しておきましょう。



### 3 詳細情報

#### <図書の場合>



貸出中であれば返却期限が表示されます

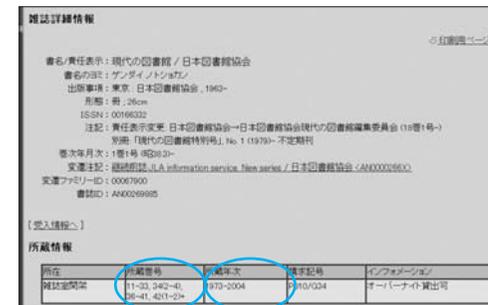
★図書館には、古いものから新しいものまで、いろいろな資料があります。必ず出版年を確認してください。

★所在と請求記号をメモして、各館に掲示されているフロアマップを参考に図書を探してください。

★図書はテーマごとに分類され請求記号がつけられているので、同じ内容の図書が、同じ所に並べられています。



#### <雑誌の場合>

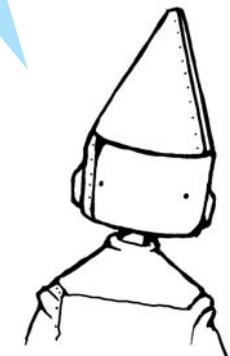


雑誌の場合は、目的の巻号の所蔵を確認してください。

11-33,34(2-4), 36-41, 42(1-2)+  
↑ 巻 号 継続しています という意味

探している文献がどの雑誌に掲載されているかは、文献情報データベースで調べます。

→P.14~15参照

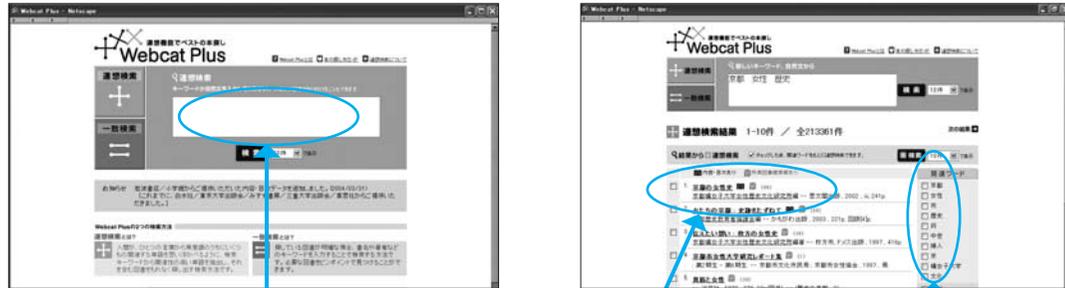


### ③京都女子大学図書館OPAC以外の目録データベース

#### NACSIS Webcat Plus

<http://webcatplus.nii.ac.jp>

国内の大学図書館や研究機関に所蔵されている一部の和図書を内容・目次からも検索ができます。  
(平成17年度中にWebcatと統合されて、洋書の検索も可能になる予定)



キーワードを入力。文章で入力しても検索ができます。

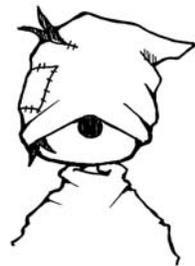
図書の内容、目次など詳細情報を見ることができます。

関連ワードをチェックして、検索結果からさらに連想検索することができます。

#### NACSIS Webcat

<http://webcat.nii.ac.jp>

国内の大学図書館や研究機関に所蔵されている図書・雑誌の検索ができます。  
(平成17年度中にWebcat Plusと統合して内容、目次からの検索が可能になる予定)



他にもいろいろなデータベースがあります。巻末の一覧を参考に、目的に合わせて選んでください。

#### 京都市図書館

<http://www.kyotocitylib.jp>

京都市の図書館(各区の図書館を含む)が所蔵する資料を横断検索することができます。

#### 国立国会図書館(NDL-OPAC)

<http://opac.ndl.go.jp>

国立国会図書館の蔵書検索ができます。日本国内で出版された出版物を網羅的に調べられます。

#### 京都府図書館総合目録ネットワーク

<http://www.library.pref.kyoto.jp/klibnet>

京都府立図書館、京都府資料館などが所蔵する資料を横断検索することができます。

#### British Library

<http://catalogue.bl.uk>

英国図書館の蔵書検索ができます。

### Column データベース以外での文献探索の方法



#### ①「参考文献」で探す

参考文献とは、ある研究や調査のために参考にした文献資料のことです。著者、タイトル、出版者、出版年などの基本情報が著書の巻末や各章末などに掲載されています。→P.28参照

参考文献のリストは、その論文のテーマに関する文献のリスト(目録)になっているので、テーマに沿って文献を探るときに、とても便利で有効な情報源になります。求めているテーマに関する一つの文献を見つければ、その文献の「参考文献」リストから連鎖的に文献を探ることができます。

データベースなど、他の文献探索のツールとあわせて利用してみてください。

#### ②冊子体目録を使う

目録は、図書の形式でも出版されています。キーワードでの検索はできませんが、特定の分野に絞り込まれた、信頼性の高い文献を見つけることができます。各分野ごとに、文献が発行された年代によってまとめられていることが多いです。

#### 目録とは?

書名・著者名・出版事項・請求記号・配置場所など、資料に関する情報を記録したもので、探している資料が図書館に所蔵されているかどうか、また配置場所がどこなのかを調べることができます。OPAC(オンライン目録)→P.10参照のコンピュータ目録とカード目録、冊子体目録の3種類の形態があります。

#### 参考図書とは?

語学辞書や、百科事典のような総合的なものから、地名・人名事典などのように一定の事柄について専門的に書かれているものまで、何かを調べる時に、求める情報にたどりつく手段として利用する図書のことです。京都女子大学図書館には、参考図書コーナーを設けています。



### ④文献情報データベース

#### 文献情報データベースとは・・・

学術雑誌に掲載されている論文の情報を集めたデータベースです。データベースによって論文記事の収録年代が違います。自分が読みたい記事・論文が、どの雑誌のどこに掲載されているかを検索することができます。

\*オンラインで提供されるものには、学内でのみ利用できるものとフリーで利用できるものがあります。

### MAGAZINEPLUS 学内限定

1975年以降の日本国内の学術雑誌・学会年報の収録論文や、一般週刊誌の記事検索ができます。

#### 1 キーワードを入力



キーワードや論文・記事名、著者名、雑誌名などからの検索ができます。

#### 2 ヒット件数が表示



一覧表示をクリックしてください。

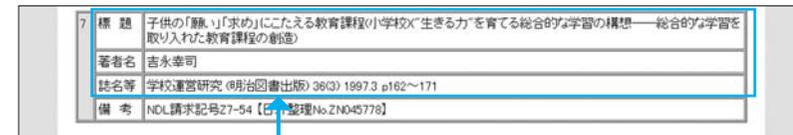
ヒット件数が多過ぎる場合は、絞り込むこともできます。

#### 3 検索結果一覧



チェックして詳細を表示します。

#### 4 詳細画面



論題、著者、雑誌名、巻号、出版年、ページをメモ

チェック!

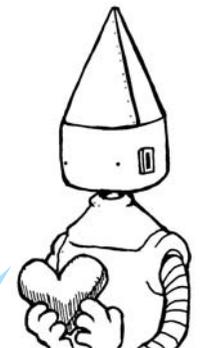
「1997年3月」に「明治図書出版」が発行した「学校運営研究」という雑誌の「36巻3号」の「162～171ページ」に「子どもの・・・」という論文が載っています。と、よみとります。論文が掲載されている雑誌が京都女子大学図書館に所蔵されているかはOPACで検索することができます →P.10参照

### 国立国会図書館雑誌記事索引 <http://opac.ndl.go.jp>

国立国会図書館が提供している文献情報探索データベースです。人文・社会系は1948年から検索できます。



論文が掲載されている雑誌が京都女子大学図書館になくても、他の図書館から論文のコピーを取り寄せることができます。詳しくは、カウンターにおたずねください。



⑤電子ジャーナル(国内版)

電子ジャーナルとは・・・

Web上で閲覧できる雑誌のことで、インターネットを利用して、学術雑誌に掲載された論文・記事を直接、読むことができます。(冊子体が電子化されているので、中身は雑誌と同じ。) 本文が表示されなくても、目次や抄録まではみることができます。

論文情報ナビゲータCiNii <http://ci.nii.ac.jp> 一部学内限定

国立情報学研究所提供の国内の大学・学会などが発行している文献の情報を主に収録したデータベースです。直接本文を閲覧できるものも、数多く含まれています。

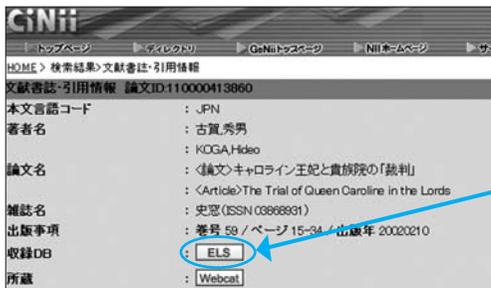
1 キーワードを入力



2 検索結果一覧



3 詳細表示



ELSのボタンがある文献は、クリックすると論文の全文が表示されます。パスワードの入力画面が表示されたら図書館カウンターにおたずね下さい。

4 本文表示



クリックする



オンライン上の文献、情報にも著作権があります。  
 ・ダウンロードは必要なものだけ  
 ・プリントアウトは1人1部  
 ・信頼できるサイト以外からは、ダウンロードしない  
 ルールを守って利用して下さい。



提供されている文献の多くは、PDFファイルになっています。閲覧するにはAdobe Readerが必要です。

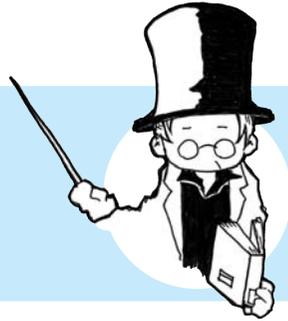
J-STAGE <http://www.jstage.jst.go.jp>

JST(科学技術振興機構)提供による、電子ジャーナルで、国内の科学技術系の学会誌に掲載された文献を中心に、検索・閲覧することができます。



⑥電子ジャーナル(国際版)

海外の文献を時間をかけずに手に入れることができます。国際的な学術論文は、英文で書かれることが一般的です。複数の出版社にまたがって蓄積されている全分野に渡った雑誌論文を網羅的に検索できる総合データベース型と、掲載されている雑誌の出版社のサイトから検索する方法があります。



Academic Research Library (ProQuest)

学内限定

英米国中心に発行されている、人文社会から自然科学までの幅広い分野の雑誌、新聞を収録し、掲載された論文、記事がキーワードで一度に検索でき、そのまま本文が入手できます。

1 キーワードを入力



画面の文字表示を日本語にできます。

キーワードは、アルファベット(英語)で入力してください。

2 検索結果一覧



全文あるいは、PDFの表示のあるものは、全文を表示することができます。

論文記事名など

3 詳細画面



論文名、著者名、掲載雑誌名、出版社、出版年、巻号、ページ数などを確認



OCLC ECO(OCLC Electronic Collections Online)

学内限定

OCLCの提供する電子ジャーナルで、Academic Research Library同様、様々な学術雑誌に掲載された論文が、キーワードで一度に検索でき、本学が契約している68誌については、そのまま本文が入手できます。



## II. 情報検索

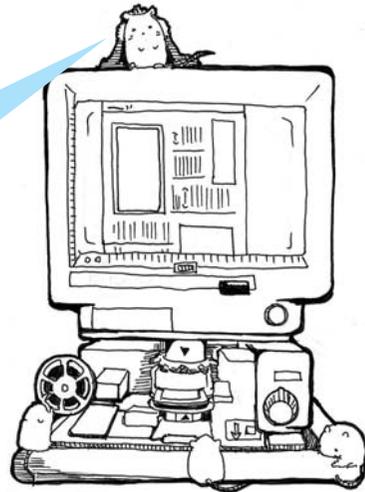
### ① 新聞記事

見たい日付が決まっている場合

→原紙、縮刷版、マイクロフィルムで記事を探す

最新のもの、原紙で約2ヶ月から1年間保存されています。過去の新聞記事は、縮刷版やマイクロフィルムで見ることができます。

京都女子大学で所蔵している新聞の一覧は、図書館ホームページで確認できます。



出来事、テーマで調べたい場合

→データベース、CD-ROMで網羅的に記事を探す

新聞記事は、記事の内容からキーワードで検索することができます。データベースでは写真などは見ることができませんが、出来事やテーマを網羅的に検索することができます。

### 間蔵 学内限定

1984年以降の朝日新聞の見出し・本文からの記事検索ができ、記事の全文を閲覧することができます。また、朝日新聞社の発行する「週刊朝日」「AERA」の記事や、現代用語辞典の「知恵蔵」も検索することができます。

#### 1 キーワードを入力



キーワード、発行日を入力

#### 2 検索結果一覧



### 3 詳細画面



記事が掲載された新聞の日付

記事本文

### 戦後50年朝日新聞見出しデータベース 雑誌室所蔵 ©CD-ROM

1945年から1995年までの朝日新聞の見出しを検索することができます。

(記事本文は検索できません。)

検索した記事の掲載日などの情報から、縮刷版やマイクロフィルムなどを探します。利用については図書館雑誌室カウンターにお問い合わせください。

### 日経テレコン21 図書館内限定

1985年以降の日経4紙のほか、朝日・産経・読売等の全国紙、京都新聞などの地方紙、専門紙などの各種新聞の他、エコノミスト、日経BPなど日経新聞社の発行する雑誌の記事検索ができます。

\*利用を希望される方はカウンターまで!



### New York Times 学内限定

New York Timesの最新の記事を閲覧することができます。P.18で紹介した電子ジャーナル Academic Research Libraryに収録されています。



## ②統計データ

### 統計データとは・・・

一定の条件で調査すべき事項を定め、調べた(集めた)結果を、集計・加工して得られた数値やデータです。たとえば、人口の増加率や子どもの就学率などを調べることができます。政府各省庁、地方公共団体や民間企業、国連やWHOなどの国際機関などから、数多くの統計書が発行されています。

### 統計データの種類

- 年鑑**..... 特定分野の一年間の出来事・統計を表・図などを用いて収録・解説した、年1回の継続出版物のこと。
- 白書**..... 政府の施策の現状を国民に知らせることを目的として年1回刊行されるものです。各省庁が調査した統計資料や、調査報告書などが掲載されています。地方公共団体や民間の団体で発行される出版物にも、白書と名づけられて、刊行されるものがあります。
- 国勢調査報告書**... 日本国政府が5年に1度行っている最も基本的な統計調査の報告書。

### 統計データの探し方

統計を調べる場合、知りたい内容によって、どんな統計があるかを調べます。総務省統計局によって毎年発行される「統計情報インデックス」や「日本統計年鑑」「世界の統計」など、統計の索引やガイドブックで調べることができます。総務省統計局のホームページや、「統計データポータルサイト」では各省庁の統計をキーワードで横断検索することもできます。



### 冊子体で検索する

#### 図書館本館5階



最新の統計集は、図書館本館5階の年鑑・統計コーナーに配架しています。古いものは閉架にあります。

### インターネットで検索する

#### 統計データ・ポータルサイト

<http://portal.stat.go.jp>

政府発行の年鑑・白書・統計データをみることができます。フリーワード、分野別、50音順での検索ができます。



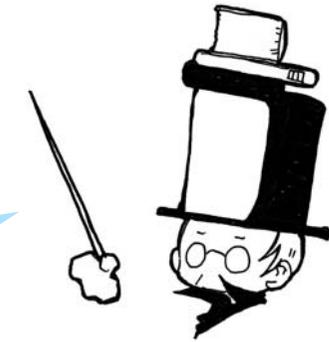
#### 総務省統計局

<http://www.stat.go.jp>

総務局公表の各種データ、公表スケジュールを調べることができます。

#### 各省庁ホームページ

白書は各省庁のホームページから入手できます。



インターネット上では、日本だけでなく、世界の統計データをみることもできます。

#### Country Studies

<http://lcweb2.loc.gov/frd/cs/cshome.html>

各国の国土・人口・経済状況などの基本情報を調べることができます。



#### WHO

<http://www.who.int/en>

WHO(世界保健機関)のホームページです。各地域の出生率、死亡率などの統計データをみることもできます。



### Ⅲ. インターネットを使っての情報検索

#### インターネット上の情報について・・・

学術情報は、インターネットでも入手することができます。情報の信頼性を十分に確かめる必要がありますが、世界中から情報収集をすることができます。

#### 検索エンジンを使って検索する

インターネット上に散らばっている情報を検索するシステム(ソフトウェア)のことで、それぞれの検索エンジンごとに特徴があります。検索エンジンを使えば、すばやく情報を得ることができます。

##### ■ ロボット型検索エンジン 代表例: goo, google など

プログラム(ロボット)が、定期的にインターネット上を巡回し、インターネット上のホームページを自動収集しデータベース化しているタイプ。

**長所** キーワードを入力すると、合致する言葉をウェブページの全文から探し出すので、ヒット件数が非常に多い。

**短所** サイトの登録が自動で行われる為、検索結果にキーワードの内容と全く関係のないページがでてくることもある。

##### ■ 登録型検索エンジン 代表例: yahoo! japan など

ウェブページの内容カテゴリーから大分類→中分類→小分類と、階層をたどっていくタイプ。

**長所** 人が判断してカテゴリー別に分類し、登録しているので、サイトの信頼性が高い。検索の結果が、検索キーワードと一致するものが多い。

**短所** 検索できる件数は、ロボット型に比べて少ない。

\*両方の検索方式をサポートした検索サイトが増えてきています。

#### 情報リソース集を利用する

図書館ホームページの情報検索リンク集を利用する  
京都女子大学図書館ホームページにも学術系サイトのリンク集があります。

(<http://www.kyoto-wu.ac.jp/library/index.htm>)

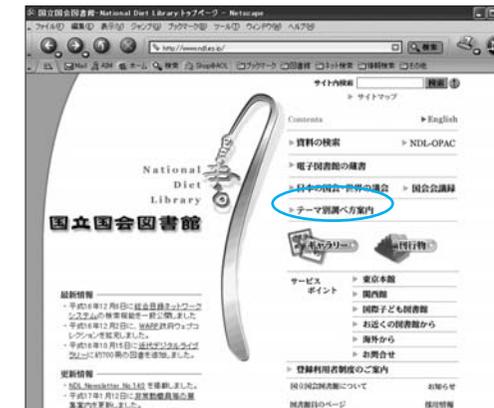


#### 他機関作成のリンク集

##### 国立国会図書館

<http://www.ndl.go.jp>

「テーマ別調べ方案内」では、情報の入手の仕方が丁寧に解説されています。



##### 東京大学附属図書館

##### インターネット学術情報インデックス

[http://resource.lib.u-tokyo.ac.jp/iri/url\\_search.cgi](http://resource.lib.u-tokyo.ac.jp/iri/url_search.cgi)

全分野に渡って主に、大学・研究機関・学会・学術出版社等が提供する、信頼性の高いサイトを収集しています。



##### GeNii

<http://ge.nii.ac.jp>

国立情報学研究所が提供している目録所在情報サービス、情報検索サービス、電子図書館サービス等のさまざまな学術情報サービスを統合したサイトです。



##### 京都大学附属図書館 リンク集 Cybrary

<http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/cybrary/index.htm>

お薦めのサイトを機関、資料形態などに分けて提供しています。



研究機関や大学、学会のホームページなどにも、発行している雑誌の目次や論文本文が掲載されていることがあります。

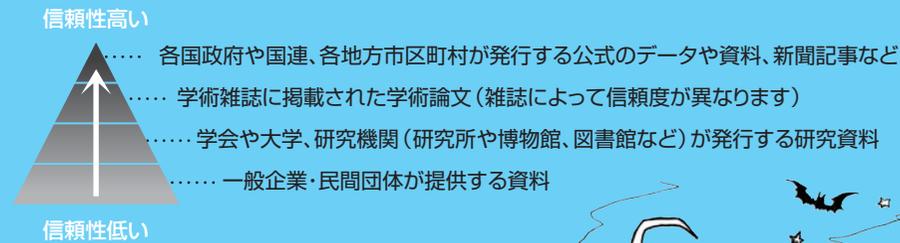
(例) 京都女子大学 現代社会学部webサイト <http://www.cs.kyoto-wu.ac.jp/>

県立図書館や研究機関、学会などのホームページのリンク集も情報検索に有効なツールです。

## Column 情報の信頼性とセキュリティ

インターネット上の情報は、政府公認の公式データから、一般研究者の論文、悪意のある嘘のデータまで、様々な情報が混ざっています。情報の探索者はどの情報が信頼できるのか、意識して選択しなくてはなりません。情報の信頼性は、信頼できる発行者によって発信されたものかどうかにより判断することができます。

### 信頼できるもの



### 信頼できないもの

- \* 個人が発行するサイトの情報
- \* 発行者が明らかでないサイトの情報
- \* 情報の出典やデータの収集方法が明らかでないもの

オンライン上の情報だけでは信頼することができない情報を利用する場合は、図書や雑誌など信頼できる別の媒体から、情報を裏付ける資料が必要です。

### セキュリティと著作権について

電子ジャーナルや統計データは、多くがPDFなどのファイルになっています。これを閲覧するためには使っているパソコンにダウンロードしなくてはなりません。悪意のあるページからこうしたファイルをダウンロードすると、コンピュータウイルスに感染してしまう可能性があります。

インターネット上の文章、写真、イラストなどすべての情報に、図書や雑誌など他の資料と同様に著作権があります。著作権法上、電子ファイルのコピーは許可されていません。プリントアウトも1人1部のみと定められています。（著作権を保護するために、ダウンロードやプリントアウトができない場合もあります。）必要な論文、データのみダウンロードするようにしましょう。

- \*ダウンロードは、信頼できるサイトから
- \*ダウンロードしたファイルはコピーしない
- \*プリントアウトは1人1部のみ



## まとめ:検索のコツ

### ■ ポイント1 時間に余裕をもって検索する

よい文献が見つければ、レポートも卒論も、より書きやすくなります。レポートや卒論のテーマを決めるのに悩んでいても、検索してみることでヒントを得られることもあります。また、読みたい文献が見つかって、入手できるまでに時間がかかる場合があります。時間に余裕をもって文献探索に挑んでください。

### ■ ポイント2 いろいろなキーワードで検索してみる

データベースは文章で検索するより、短い単語を組み合わせた方が数多くの検索結果を得られます。小学生⇔児童⇔こども⇔生徒など、連想できる限り言葉を変えて、いろいろ検索してみましょう。辞書や百科事典で調べたり、友達と一緒にキーワードを考えながら検索すると、新しい情報と出会う可能性が大きくなります。

### ■ ポイント3 検索したい分野に強いデータベースを選択する

データベースには、それぞれに得意な分野や資料があります。図書館ホームページやP.29以降のリストをみて、探したい分野に強いデータベースを選んでください。

### ■ ポイント4 とにかく、あきらめない

この世に見つからないものはない!と思い込んで、とにかくあきらめずに探索に挑んでください。

### ■ ポイント5 わからなければ、聞いてみる

使い方がわからない、何を探せばいいかわからない、という時は、図書館カウンターにご相談ください。



## 附録: 参考文献の記載について

レポート、論文を書くときには、必ず参考にした文献情報の一覧をレポートの最後に記載します。著者・論文や本のタイトル、掲載されている学術雑誌名、掲載巻号、掲載ページなどの文献の基本情報は間違いなく記載しなくてはなりません。

また、文章中に他者の著作の文章の部分や図・写真を引用した場合は、どの資料のどの部分を引用したのか、わかりやすく明記します。

### ■ 図書の場合

- ①著者、編者 ②出版年 ③タイトル ④シリーズタイトル、巻号 ⑤出版者(出版社)

書き方例 増田信一著, 2004『演劇的学習の建設』(京都女子大学研究叢刊40), 京都女子大学

### ■ 学術雑誌に掲載されている論文の場合

- ①著者 ②出版年 ③論文のタイトル ④掲載されている雑誌名(雑誌の発行者)  
⑤巻号 ⑥掲載ページ

書き方例 古賀秀男, 2002「キャロライン王妃と貴族院の「裁判」」, 『史窓(京都女子大学史学会)』, 第59号, p15-34

### ■ インターネットなど電子資料の場合

- ①著者、サイトの発行者 ②タイトル(情報の標題) ③媒体(オンライン、CD-ROM等)  
④入手先(URL) ⑤アクセス日時 ※インターネットの情報は、いつアクセスしたのかを必ずメモしておきます

書き方例 文部科学省, 「小学校学習指導要領(文部省告示第175号)」(オンライン),  
入手先 URL: [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shuppan/sonota/990301b.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shuppan/sonota/990301b.htm)  
(参照2005.1.15)

☆読んだ本や論文の情報は、全て控えておきましょう。

☆参考文献の一覧は、著者の名前順に記載します。

LibraryNews 9 の参考文献を記載すると、次のようになります

#### 参考文献

- ・大串夏身著, 『文科系学生の情報術』, 青弓社, 2004.10
- ・東北大学附属図書館, 『東北大学生のための情報探索の基礎知識』(オンライン)  
入手先URL: <http://www.library.tohoku.ac.jp/mylibrary/tutorial/>  
(参照2005.2.7)
- ・吉田健正著, 1997『大学生と大学院生のためのレポート・論文の書き方』, ナカニシヤ出版



## データベース・サイトリスト一覧

### 文献・論文を探すためのデータベース(国内版)

\*…是非利用してほしいデータベースです

<b>MAGAZINEPLUS*</b> (日外アソシエーツ) 学内限定	日本国内の学術雑誌・学会年報の収録論文や、一般週刊誌の記事検索ができます。 収録年:1975~
<b>雑誌記事索引*</b> (国立国会図書館) <a href="http://opac.ndl.go.jp">http://opac.ndl.go.jp</a>	人文・社会系は1948年から、それ以外は1975年以降の国立国会図書館が所蔵している雑誌に収録された論文や記事のタイトルや著者などから、収録されている雑誌を検索することができます。 収録年:人文・社会系1948~、それ以外1975~
<b>CiNii*</b> (国立情報学研究所) <a href="http://ci.nii.ac.jp">http://ci.nii.ac.jp</a> (一部学内限定)	国内の大学・学会などが発行している、文献の情報を主に収録したデータベースです。学会や大学の紀要(各機関の研究論文を集めた学術雑誌)が、収録されている電子ジャーナルで、直接本文を閲覧できます(一部抄録まで)。
<b>J-STAGE</b> (JST(科学技術振興機構)) <a href="http://www.jstage.jst.go.jp">http://www.jstage.jst.go.jp</a>	国内の科学技術系の学会誌に掲載された文献を中心に、検索・閲覧することができる電子ジャーナルです。
<b>JDream</b> (JST(科学技術振興機構)) 学内限定	国内外の科学技術に関する文献情報を収録したデータベースです。
<b>論説資料(CD-ROM)</b> (論説資料保存会) 学内限定	論説資料(教育学・日本語学・英語学・中国関係の各分野において、主に紀要に収録された論文をまとめたもの)に収録されている論文を検索することができます。教育学については図書館本館、日本語学・英語学・中国関係については、図書館分館カウンターにお問い合わせください。
<b>法律判例文献情報(CD-ROM)</b> (第一法規出版) 学内限定	法律文献(図書・雑誌)と判例情報について検索することができます。利用については図書館本館カウンターにお問い合わせください。 収録年:1982~
<b>KAKEN 科学研究費補助金データベース</b> (国立情報学研究所) <a href="http://seika.nii.ac.jp">http://seika.nii.ac.jp</a>	文部科学省などが交付する科学研究費補助金により行われた研究成果をまとめた報告論文のデータベースです。全分野にわたって国内の先端的な研究の成果を知ることができます。論文は、国立国会図書館などから入手することができます。

### 図書・雑誌を探すためのデータベース(国内版)

<b>Webcat</b> (国立情報学研究所) <a href="http://webcat.nii.ac.jp">http://webcat.nii.ac.jp</a>	国内の大学図書館や研究機関に所蔵されている図書・雑誌の検索ができます。国内に所蔵されている学術文献が網羅的に検索できます。(平成17年度中に内容、目次からの検索が可能になる予定)
<b>WebcatPlus</b> (国立情報学研究所) <a href="http://webcatplus.nii.ac.jp">http://webcatplus.nii.ac.jp</a>	人間の思考方法に近い検索技術「連想検索機能」を使って、必要な図書を内容から効率的に探すことができます。本の目次・内容などを確認することができます。*現在検索できるのは、和書のみです。(平成17年度中にWebcatと統合する予定)
<b>NDL-OPAC</b> (国立国会図書館) <a href="http://opac.ndl.go.jp">http://opac.ndl.go.jp</a>	国立国会図書館(NDL)所蔵の本の検索ができます。

<b>京都府総合目録ネットワーク</b> <a href="http://www.library.pref.kyoto.jp/klibnet">http://www.library.pref.kyoto.jp/klibnet</a>	京都府内の図書館や読書施設(京都府立図書館、京都府総合資料館など)が所蔵する資料を横断検索することができます。 *京都市の図書館の検索はできません。
<b>京都市図書館</b> <a href="http://www.kyotocitylib.jp">http://www.kyotocitylib.jp</a>	京都市の図書館(各区の図書館を含む)が所蔵する資料を横断検索することができます。
<b>BOOKPLUS</b> (日外アソシエーツ) <b>学内限定</b>	日本国内で発行された本を内容・テーマから検索することができます。 収録年:昭和元年～
<b>Books.or.jp</b> (日本書籍出版協会) <a href="http://www.books.or.jp">http://www.books.or.jp</a>	「日本書籍総目録」のWeb版で、国内で発行されている、現在入手可能な書籍が検索できます。

<b>Psyc INFO</b> (アメリカ心理学会 (American Psychological Association)) <b>学内限定</b>	心理学と精神医学・社会学・人類学等を含む行動科学及び社会科学に関する文献データベースです。 収録年:1872～
<b>ERIC</b> (米国の教育省 (Department of Education)) <a href="http://www.eric.ed.gov">http://www.eric.ed.gov</a>	教育学関連の雑誌記事と文献が検索できます。 収録年:1966～
<b>SciFinder Scholar</b> (American Chemical Society) <b>学内限定</b>	Chemical Abstracts (CA)という世界最大の科学技術論文抄録集のオンライン版です。新刊科学論文の著者や抄録(概要)、特許について、化学物質、実験方法、実験装置などから多角的に検索することができます。
<b>PubMed</b> (米国国立医学図書館 (NLM:National Library of Medicine)) <a href="http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez">http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez</a>	「MEDLINE」を含む医学・薬学・生物学に関する文献データベースです。 収録年:1966～
<b>ScienceDirect</b> (Elsevier, Pergamon, Academic Pressなど) <b>学内限定</b>	Elsevier社等が提供する科学技術系の文献の電子ジャーナルのサイトです。文献の検索のほか、直接本文を入手できるものもあります。

### 文献・論文を探すためのデータベース(海外版)

#### <全分野型>

<b>Academic Research Library (ProQuest)*</b> (ProQuest社) <b>学内限定</b>	ProQuest社の提供する、電子ジャーナルです。英米国中心に発行されている、人文社会から自然科学までの幅広い分野の雑誌、新聞を収録し、掲載された論文、記事が、キーワードで一度に検索でき、そのまま本文が入手できます。
<b>OCLC ECO (OCLC Electronic Collections Online)*</b> (OCLC社) <b>学内限定</b>	OCLC社の提供する、電子ジャーナルです。様々な学術雑誌に掲載された論文が、キーワードで一度に検索でき、本学が契約している68誌については、そのまま本文が入手できます。
<b>First Search</b> (OCLC社) <b>学内限定</b>	世界最大の書誌データベースWorldCatを中心に約80種類のデータベースの中から、実際に検索したいデータベースをいくつか選択して利用します。人文科学、科学、医学、法律、教育、社会科学等、多分野にわたって情報を収録しています。*固定金額制での契約ではないため、検索及びフルテキスト表示の際は、必要なものを限定した上で行ってください。
<b>Google Scholar</b> <a href="http://scholar.google.com">http://scholar.google.com</a>	試験公開中のデータベースですが、インターネット上の学術情報をキーワードで網羅的に検索できます。
<b>High Wire</b> <b>学内限定</b>	「Science」, 「PeoNAS」, 「The Journal of Biological Chemistry(JBC)」など英米の学協会系雑誌が検索できます。
<b>Ingenta Select</b> <b>学内限定</b>	Sage, MIT Press, Royal Society, Blackwell Publishingなど複数の出版社から提供される電子ジャーナルのサイトです。キーワードから論文を検索し、そのまま本文を入手することができます。
<b>Ingenta</b> <a href="http://www.ingentaconnect.com">http://www.ingentaconnect.com</a>	全分野にわたる26,000以上の出版物(約1,200万件の論文を収録)を検索できるデータベースです。

#### <特定分野型>

<b>MLA (Modern Language Association International Bibliography)</b> (アメリカ現代言語協会 (MLA)) <b>学内限定</b>	アメリカ現代言語協会 (MLA) の提供するデータベースです。1963年から現在までの、世界各国の言語、文学、伝承などに関する文献が検索できます。*「ProQuest」とリンクしているので、本文を閲覧できるものもあります。 収録年:1963～
----------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### 図書・雑誌を探すためのデータベース(海外版)

<b>BLPC (The British Library Public Catalogue)</b> <a href="http://blpc.bl.uk">http://blpc.bl.uk</a>	英国図書館の蔵書を検索できます。複写物などを取り寄せることができるものもあります。
<b>LC (Library of Congress Online Catalog)</b> <a href="http://catalog.loc.gov">http://catalog.loc.gov</a>	アメリカ議会図書館の蔵書を検索できます。
<b>フランス国立図書館</b> <a href="http://www.bnf.fr/pages/zNavigat/frame/catalog.htm">http://www.bnf.fr/pages/zNavigat/frame/catalog.htm</a>	フランス国立国会図書館の蔵書を検索できます。
<b>国家図書館 (台湾)</b> <a href="http://www.ncl.edu.tw/ncl1.htm">http://www.ncl.edu.tw/ncl1.htm</a>	台湾国家図書館の蔵書を検索することができます。
<b>COPAC</b> <a href="http://copac.ac.uk/copac">http://copac.ac.uk/copac</a>	英国・アイルランドの大学図書館を横断検索できます。
<b>KVK</b> <a href="http://www.ubka.uni-karlsruhe.de/hylib/en/kvk.html">http://www.ubka.uni-karlsruhe.de/hylib/en/kvk.html</a>	ドイツを中心にヨーロッパの主要図書館の横断検索をすることができます。検索結果が所蔵図書館別に表示されます。

### 総合データベース・学術ポータルサイト

どういったデータベースがあるのかしらべたり、いろいろなデータベースを一度に横断検索できます

<b>GeNii</b> (国立情報学研究所) <a href="http://ge.nii.ac.jp">http://ge.nii.ac.jp</a>	国立情報学研究所が提供している目録所在情報サービス、情報検索サービス、電子図書館サービス等のさまざまな学術情報サービスを統合したサイト。
<b>Read</b> (JST (科学技術振興機構)) <a href="http://read.jst.go.jp">http://read.jst.go.jp</a>	科学技術系の研究情報を調べることができます。

<b>Dnavi</b> (国立国会図書館) <a href="http://dnavi.ndl.go.jp">http://dnavi.ndl.go.jp</a>	Web上のデータベース案内です。国内で提供されている電子図書館やデータベースなどの情報が検索できます。
<b>テーマ別調べ案内</b> (国立国会図書館) <a href="http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme.html">http://www.ndl.go.jp/jp/data/theme.html</a>	いろいろな情報の入手の仕方をテーマごとに丁寧に解説しています。
<b>東京大学附属図書館 インターネット学術情報インデックス</b> <a href="http://resource.lib.u-tokyo.ac.jp/iri/url_search.cgi">http://resource.lib.u-tokyo.ac.jp/iri/url_search.cgi</a>	全分野に渡って主に、大学・研究機関・学会・学術出版社等が提供する、信頼性の高いサイトを収集しています。
<b>京都大学附属図書館 リンク集 Cybrary</b> <a href="http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/cybrary/index.htm">http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/cybrary/index.htm</a>	お薦めのサイトを機関、資料形態などに分けて提供しています。

### 新聞記事検索のデータベース

<b>聞蔵</b> (朝日新聞社) 学内限定	朝日新聞の見出し・本文からの記事検索ができ、記事の全文を閲覧することができます。朝日新聞社の発行する「週刊朝日」「AERA」の記事や現代用語辞典の「知恵蔵」も検索することができます。 収録年:1984～
<b>戦後50年朝日新聞見出しデータベース (CD-ROM)</b> (朝日新聞社) 雑誌室所蔵	朝日新聞の見出しから記事を検索することができます。(記事本文は閲覧できません) 利用については図書館雑誌室カウンターにお問い合わせください。 収録年:1945～1995
<b>日経テレコン21</b> (日本経済新聞社) 図書館内限定	日経4紙のほか、朝日・産経・読売等の全国紙、京都新聞などの地方紙、専門紙などの各種新聞の他、エコノミスト、日経BPなど日経新聞社の発行する雑誌の記事検索ができます。(利用については図書館カウンターにお問い合わせください) 収録年:1985～
<b>New York Times</b> 学内限定	New York Timesの最新の記事を閲覧することができます。 電子ジャーナル Academic Research Library に収録されています。 収録年:1995～

### 統計・法令・特許データの検索

<b>官報情報検索サービス</b> (国立印刷局) 図書館内限定	昭和22年5月3日(日本国憲法施行日)以降から当日発行分(当日分は午後3時以降に公開)までの官報が検索できます。(利用については図書館カウンターにお問い合わせください) 収録年:1947～
<b>電子政府の総合窓口</b> (総務省行政管理局) <a href="http://www.e-gov.go.jp">http://www.e-gov.go.jp</a>	政府の行政情報を総合的に検索案内するポータルサイト。政府から発表された統計などの資料を検索することができます。
<b>統計データポータルサイト</b> (総務省統計局) <a href="http://portal.stat.go.jp">http://portal.stat.go.jp</a>	政府発行の年鑑・白書・統計データをフリーワード、分野別、50音順から検索することができます。

<b>総務省統計局</b> <a href="http://www.stat.go.jp">http://www.stat.go.jp</a>	統計局公表の各種データ、公表スケジュール、を調べることができます。
<b>Country Studies</b> <a href="http://lcweb2.loc.gov/frd/cs/cshome.html">http://lcweb2.loc.gov/frd/cs/cshome.html</a>	各国の国土・人口・経済状況などの基本情報を調べることができます。
<b>WHO (世界保健機関)</b> <a href="http://www.who.int/en">http://www.who.int/en</a>	世界保健機関が集計した世界の保健に関する情報を調べることができます。
<b>文部科学省白書等データベースシステム</b> <a href="http://www.wp.mext.go.jp/wp">http://www.wp.mext.go.jp/wp</a>	文部科学省が保有する書誌(白書・報告書等)を閲覧することができます。
<b>法令データ提供システム</b> (総務省行政管理局) <a href="http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi">http://law.e-gov.go.jp/cgi-bin/idxsearch.cgi</a>	法令(憲法・法律・政令・勅令・府令・省令・規則)の内容を閲覧することができます。
<b>特許電子図書館IPDL</b> (工業所有権情報・研修館) <a href="http://www.ipdl.ncipi.go.jp/homepg.ipdl">http://www.ipdl.ncipi.go.jp/homepg.ipdl</a>	明治以来発行されている5,300万件の特許・実用新案・意匠・商標の公報類及び関連情報を検索、閲覧できます。

### そのほかの学術情報

<b>教育情報ナショナルセンター NICER</b> (文部科学省) <a href="http://www.nicer.go.jp">http://www.nicer.go.jp</a>	学校教育から、高等教育、生涯学習にいたる「教育の情報化」の推進を支援することを目的とした、教育・学習に関する情報ネットワークの中心的役割を果たすwebサイト。
<b>学習指導要領(文部科学省)</b> <a href="http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youryou/">http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/youryou/</a>	現行の学習指導要領が閲覧できます。
<b>ヌエック</b> (国立女性教育会館) <a href="http://www.nwec.jp">http://www.nwec.jp</a>	女性学関連の文献・統計資料・機関の検索ができます。
<b>Nichibunken 国際日本文化研究センター</b> <a href="http://www.nichibun.ac.jp">http://www.nichibun.ac.jp</a>	日文研の出版物や所蔵の検索のほか、日本文化に関するデータベースが利用できます。
<b>国文学研究資料館</b> <a href="http://www.nijl.ac.jp">http://www.nijl.ac.jp</a>	国文学に関するデータベースや、資料館所蔵の資料の検索ができます。
<b>国立公文書 アジア歴史資料センター</b> <a href="http://www.jacar.go.jp">http://www.jacar.go.jp</a>	近現代の日本とアジア近隣諸国との関係に関わる歴史資料をオンラインで閲覧することができます。 収録年:1860年代～1945年前後
<b>国立国会図書館 近代デジタルライブラリー</b> <a href="http://kindai.ndl.go.jp">http://kindai.ndl.go.jp</a>	明治期に刊行された図書のうち、著作権の処理がすんだものが、公開されています。
<b>日本建築学会</b> <a href="http://www.aij.or.jp/aijhomej.htm">http://www.aij.or.jp/aijhomej.htm</a>	日本建築学会発行の学会誌などの目次情報を検索することができます。